

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年12月19日(2019.12.19)

【公開番号】特開2019-187597(P2019-187597A)

【公開日】令和1年10月31日(2019.10.31)

【年通号数】公開・登録公報2019-044

【出願番号】特願2018-81215(P2018-81215)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年11月8日(2019.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

遊技者の動作を検出可能な検出手段と、

所定演出を実行可能な所定演出実行手段と、

前記所定演出が中断された場合に、前記有利状態に制御される期待度を示唆する特殊演出を実行可能な特殊演出実行手段と、

前記特殊演出が実行されたことに基づいて、報知演出を実行する報知演出実行手段と、
を備え、

前記所定演出実行手段は、前記所定演出の実行中に前記検出手段により遊技者の動作が検出されたときに、実行中の前記所定演出の少なくとも一部を中断した後に再開することが可能であり、

前記所定演出の実行期間は、遊技者の動作が検出されたときに前記所定演出が中断される期間と、遊技者の動作が検出されたときに前記所定演出が中断されない期間とが設けられている、

ことを特徴とする、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(A) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

遊技者の動作を検出可能な検出手段と、

所定演出を実行可能な所定演出実行手段と、

前記所定演出が中断された場合に、前記有利状態に制御される期待度を示唆する特殊演出を実行可能な特殊演出実行手段と、

前記特殊演出が実行されたことに基づいて、報知演出を実行する報知演出実行手段と、
を備え、

前記所定演出実行手段は、前記所定演出の実行中に前記検出手段により遊技者の動作が検出されたときに、実行中の前記所定演出の少なくとも一部を中断した後に再開することが可能であり、

前記所定演出の実行期間は、遊技者の動作が検出されたときに前記所定演出が中断される期間と、遊技者の動作が検出されたときに前記所定演出が中断されない期間とが設けられている、

ことを特徴とする。

(1) また、他の遊技機として、

遊技者にとって有利な有利状態（大当たり遊技状態等）に制御可能な遊技機（パチンコ遊技機1等）であって、

遊技者の動作を検出可能な検出手段（プッシュセンサ35B等）と、

所定演出（図26（b）に示す楽譜画像184F001を表示する第1所定演出等）を実行可能な所定演出実行手段（演出制御用CPU120等）とを備え、

前記所定演出実行手段は、前記所定演出の実行中に前記検出手段により遊技者の動作が検出されたことに基づいて、前記所定演出を構成する演出態様の少なくとも一部を中断することが可能であり（図26（d）に示すように、第1所定演出の実行中にプッシュボタン31Bを操作することによってプッシュセンサ35Bにより遊技者の動作が検出されたことに基づいて、第1所定演出を構成するエフェクト画像の付加を中断する等）、

前記所定演出が中断された場合に、前記有利状態に制御される期待度を示唆する特殊演出を実行可能な特殊演出実行手段（演出制御用CPU120は、第1所定演出が中断された場合に、キャラクタ画像184F002が期待度を示す特殊演出を実行する等）をさらに備える

ことを特徴としてもよい。